

日 時 令和元年10月30日（水）5校時  
 場 所 3年生教室  
 児 童 21名  
 指導者 坂本 早弥香  
 谷澤 史明（学習支援）

## 1 単元名 「さいがい」から身を守ろう

### 2 単元の指導構想

本校の防災教育の目標の1つに、「災害発生に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための主体的行動がとれる能力を育てる」がある。また、中学年の重点目標の1つに「災害の時に起こる様々な危険について知り、自ら安全な行動をとれるようにする」がある。そこで本単元では、過去の地震や津波で釜石市が受けた被害の状況について知り、災害から身を守るためにはどうすればよいか考える。さらに津波や大雨、台風から命を守る正しい知識を身に付け、避難の方法について知るところを学習する。本時では、校舎内での危険箇所を確認し、命を守るための正しい知識や避難の方法について考える学習をする。

子どもたちは、これまでの防災学習で岩手県や釜石市の過去の災害を学習しており、様々な自然災害が何度も起きていることを学習している。それらの学習から、災害が発生した場合は避難しなければならないことを理解している。知識を習得させるだけでなく、「命を大切にする」という思いをもち、自分の生活に結びつけて、主体的に考えることができるようにしていきたい。

### 3 単元の指導計画（22時間）

第1次 過去の災害で釜石市が受けた被害について知ろう。・・・ 7時間

第2次 命を守るための正しい知識や避難の方法について知ろう・・・15時間（本時第11時）

### 4 本時の指導計画

#### （1）目標

校舎内の危険箇所について知り、校舎内で地震が発生した時の命の守り方を考えることができる。

#### （2）評価規準【知識・技能】

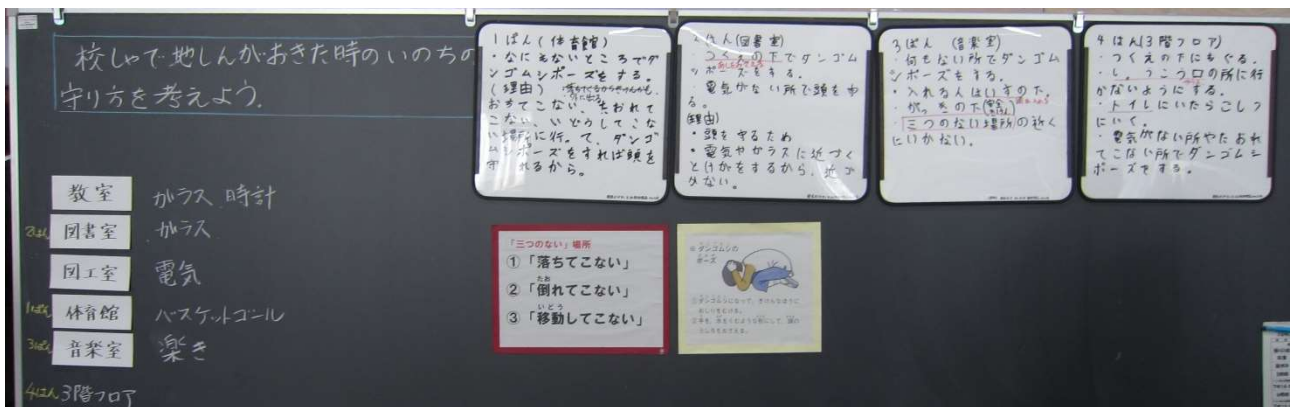
ねらいを達成している児童の姿	努力を要する児童への支援	評価方法
校舎内の危険な箇所について知り、校舎内で地震が発生した時にどのように行動すればよいか考えることができる。	危険であることを認識させるための補足説明や、「怖かったらどうするか」という問いかけをしながら行動の仕方を考えられるようにする。	グループ内での交流と全体での発表、学習シートによる評価 (発言内容・記載内容)

(3) 展開

段階	○学習内容 ・予想される子どもの反応	○支援	◇準備 ◆評価
導入 5分	<p>1 前時の学習内容を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p> <p>(1) 前時の学習から、校舎内の危険箇所を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室</li> <li>・体育館</li> <li>・図書室</li> </ul> <p>(2) 学習課題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>校舎内で地しんがおきた時のいのちの守り方を考えよう。</p> </div>	<p>○校舎内の危険箇所を学級全体で共有する。</p> <p>○危険箇所には、校内マップにシールが貼ってあることを確認する。</p>	<p>◇学習シート</p> <p>◇校内マップ</p> <p>◇写真</p>
展開 33分	<p>2 地震が発生した場合、自分の命の守り方を考え、交流する。</p> <p>(1) 自分がいる場所を想定し、命を守る行動を考え、学習シートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽室ではピアノの下にもぐり、揺れが収まったら近くの出口から避難する。</li> <li>・ガラスや照明が落ちてこないところでダンゴムシのポーズをとり、揺れが収まったら近くの出口から避難する。</li> </ul> <p>(2) 考えを交流し合う。</p>	<p>○グループを音楽室・図書室・体育館・3階フロアに振り分けて考えさせる。</p> <p>○自分がいる場所にどんな危険があるかイメージさせる。</p> <p>○グループ内で交流した内容をまとめさせる。</p>	<p>◇学習シート</p> <p>◇ボード</p> <p>◇マジック</p>
	<p>3 地震が発生した時の、命の守り方についてまとめる。</p> <p>(1) 交流で出た考えから共通点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物が落ちてこない</li> <li>・倒れてこない</li> <li>・移動してこない</li> <li>・ダンゴムシのポーズ</li> </ul> <p>(2) 「3つのない」場所と「ダンゴムシのポーズ」で命を守ることを確認する。</p>	<p>○教室以外の場所であっても「3つのない」場所が安全であることを確認する。</p> <p>○既習事項の「ダンゴムシのポーズ」を確認する。</p>	<p>◇紙板書</p> <p>◇ダンゴムシのポーズの絵</p>
終末 7分	<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>(1) 学習シートに振り返りを書く。</p> <p>(2) 振り返りを交流する。</p> <p>5 次時の予告をする。</p>	<p>○本時を通して、分かった事や考えたこと、交流してさらに考えを深めたことなどをまとめさせる。</p>	<p>◇学習シート</p> <p>◆校舎内で地震が発生した時にどのように行動すればよいか考えることができる。</p>

## 5 子どもたちの感想

- ・さいしょはどうやって行動するか分からなかったけど、考えたらどうやって自分のいのちを守るか方ほうが出たので、これからも自分で考えることを大事にしたいです。
- ・つくえがあったらつくえの下にもぐってつくえのあしをおさえます。つくえがないときは、3つのない場所（落ちてこない・たおれてこない・いどうしてこない）を見つけて、安全な方に頭をむけてダンゴムシのポーズをして地しんがおさまるのをまちます。地しんがあっても、まよわず教わったことを思い出してすばやく行動しようと思います。
- ・どこに行ってもあぶないときは、ダンゴムシのポーズをします。いつ、どこで地しんがおきるか分からないから、急に地しんがおきてもこんらんしないで安全な所に行きたいです。
- ・わたしは、体育館で地しんがおきた時にどうするか考えましたが、他の場所で地しんがおきた時のにげ方や行動が同じところがいっぱいありました。前にならったことや今日ならったことを生かしていきたいです。



## 6 参加者からの主な感想

- ・「自分の命は自分で守る」というのは、どこの学校でも教えているが、体育館にいるときに地震がきたらどうするかなど、子どもたちが具体的にどうしたらよいかを考えさせる工夫が大変勉強になった。
- ・子どもたち一人一人がとても真剣に防災学習に取り組み、“命を守る”ためにどのように行動すればよいか考える姿が印象的でした。グループごとに持ち運びも簡単な大きいホワイトボードを活用した実践も参考になりました。
- ・自分の身を守るためにどう行動するか、子どもたちがしっかりと考えることのできる授業だったと思います。グループ学習でしっかりと自分たちの意見をまとめて発表できていて、とても素晴らしかったです。

## 7 指導を終えて

〈成果〉

- 既習事項や前時までには作り上げた校内の危険箇所をまとめたマップを活用し、本時の学習を行うことができた。
- 校舎内のどこで地震が起きても、「3つのない」を基本にして考えることが自分の命を守ることにつながると理解することができた。
- 振り返りの中に、「どのように逃げるか考えて行動していこうと思う。」という考えがあったことから、教えたことをそのまま実践するのではなく、自分自身が考えて行動しなければならないという意識があることが伺えた。

〈課題〉

- ▲ 地震が発生した場合、「3つのない」を基本にして考えるが、具体的にそれがどこになるか考えることが難しい児童がいる。
- ▲ 班での話し合い活動が活発になると、その話し合いを十分に行うための時間の確保が必要になる。話し合う時間を多めに確保したため、振り返りの時間が少々短くなった。
- ▲ 本時を行うために、校舎内の危険箇所を調べる活動を行った。計画していた時数以上に調べる活動に時間がかかった。指導計画の変更が必要である。